

令和3年度 「学校の新しい生活様式」のもと、「成果や結果に責任」を目指す伊達小学校グランドデザイン

令和の日本型学校教育の構築 → 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指した授業改善の実現

伊達小学校の教育目標

強く (心身ともに健康で 北方に逞しく 生き抜く子) 正しく (ものの観方 考え方が正しく 創造性豊かな子) 朗らかに (勤労を愛し 誠意をもって仕事にあたる 明るい子)

北海道教育ビジョン (基本理念＝北海道が目指す教育の理念「自立と共生」)

・胆振管内教育推進の重点・伊達市学校教育目標

学校経営の重点1 「学力、体力の向上～数値として、結果として明確に表し残す!～」

「学び続ける学校」「学び続ける教師集団」の実現を目指す「焦点化」「見える化」「徹底・継続」の実践
 ○望ましい学習習慣づくり ○知識、技能が確実に身に付く授業づくり ○アウトプット重視の授業づくり

柱1

「学校の新しい生活様式」
に対する取組

学力向上にかかわる数値目標

※体育の授業も含めた、組織的な授業改善の推進、数値目標達成に向けた実践

- ・全国学力・学習状況調査、伊達市学力テスト →前年度の全国平均との差を半減
- ・単元テスト (各教科) →正答率 60%以下児童0
- ・各種児童アンケート・質問紙回答 →自己肯定感に関する質問項目 経年変化向上
- ・高学年での理科、外国語における教科担任制導入 →「好き」と回答する児童増
 ≪「見えない学力」を働かせ、「見える学力」の定着を図る≫

柱2

「学校力・組織力の向上」

- ◆「報・連・相・根」の徹底
- ◆焦点化・見える化・徹底・継続

学校経営の重点2 「豊かな心の育成」

- 真に「命」に迫った対応、感染者に対する配慮
- 積極的な生徒指導の推進、不登校対応
 - 道徳の教科化に対応する授業の充実「全道徳研」の取組
 - 人間関係の育成「絆づくり」、心地良い「居場所づくり」
 - 「ふるさと教育」の推進

学校経営の重点3 「生活習慣の改善」

- 「感染防止に対する意識」「基本的な生活習慣の確立」「家庭学習の充実」
- 手洗い、うがい、消毒、マスクの着用、検温、ソーシャルディスタンス、黙食の徹底
 - 家庭学習習慣の定着 (10分×学年+10分)

学校経営の重点4 「地域とともにある学校づくりの推進」

- 「学校力地域指定」「CSの活動深化」「だて学」の実践
- 小中連携の取組 (伊達中学校区の連携)、
 - 地元高校との連携
 - CSの活動の深化
 - 地域の学びの発信 (「だて学」の実践)

重点1：学力・体力の向上～特別支援教育の趣旨を踏まえた垣根のない手厚い指導

「感染防止、感染阻止」に向けた意識、児童に向き合うための心の余裕の時間確保、デジタル化の推進、服務規律の遵守、高学年での教科担任制 (理科、外国語)

重点5：学校力の向上 (チーム学校としての取組)

新学習指導要領の要諦 (前文より)

教育目的・目標の達成のため「社会に開かれた教育課程」の編成・評価・改善・充実
 ・教育課程を介して教育の目標等を社会と共有化 ・求められる資質・能力の明確化
 ・目指すところを家庭・社会と共有・連携して実現

学校力向上 (地域指定) に関する総合実践事業の趣旨

学校改善に関する先進事例や優良事例を十分に踏まえ、管理職のリーダーシップの下、中学校区で一つのチームとなった包括的な学校改善を効率的に推進し、「学び続ける学校」のモデルを提示。将来のスクールリーダーを継続的に輩出する仕組みを構築。

伊達市の基本理念
「自立、協働、創造」
伊達小学校の教育理念
「全人教育」

地域・保護者・諸施設との共有・協働 (伊達小の教育の理解促進と情報の共有化)

幼・保・中・高・特との校種間連携 (就学前・義務教育九年間・将来を見通した教育)

～ 学び続ける学校・学び続ける教師集団 ～

研修意欲旺盛な初任者層 初任者層を育てる若手 若手を育てるミドル
ミドルを支えるベテラン ミドルを指導するリーダー リーダーを鍛える教頭・校長

～ 教師としての資質・能力の維持・向上 ～

社会人としての高い規範意識＝法令の遵守 教育者としての確かな品性
教師としての子どもや教育への愛と熱意 教師としての高い職能向上への意識